

# 東京聖栄大学 後援会会報

編集発行  
東京聖栄大学  
後援会

## 会長挨拶

後援会会長 糸井 正明



弥生三月、ようやく春めいてまいりましたが、後援会の皆様方におかれましては変わらずご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度卒業されます健康栄養学部の管理栄養学科と食品学科の皆様方には誠におめでとございませう。

卒業されるご子息、ご息女の皆様を今日まで経済的にも精神的にも温かく支えて下さったご家族の方のお慶びはいか程かと拝察申し上げます。

今年卒業される皆様は東京聖栄大学の第三回目の卒業生とされます。この四年間学んできた「食」についての知識を卒業

後はプロフェッショナルとして社会貢献していただくことを期待しております。

今、社会は厳しい状況に直面しています。世界的な景気後退の後遺症が続いているために、就職が決まっていない人もいることでしょう。

このような厳しいときには冷静に自分を見直すことも必要かと思えます。

マリナーズの「イチロー」選手は「あこがれを持ちすぎて、自分の可能性をつぶしてしまっている人はいくらもいます。自分の持っている能力を活かすことができれば、可能性は広がると思えます。」と言っています。

就職の決まった人は、職業人としての新しい生活が始まりますが、多分当面の間は地味な仕事が続くことと思います。しかし企業は皆様を期待して

採用していますので、そのうち能力を引き出そうとします。その時がチャンスです。

卒業生の皆様、これからの人生は自分で考え、判断し、能力を充分活かして世の中に大きく羽ばたいていってほしいと思います。

最後になりますが、本大学の教職員ならびに関係者の皆様には熱心なご指導、ご鞭撻を受け賜り深く感謝申し上げます。

これからも、本大学と卒業生の皆様、後援会の皆様方のご発展を心からご祈念し挨拶とさせていただきます。

### 平成二十二年 度 保護者会報告

保護者会（後援会・大学共催）ならびに、教職員との情報交換会（後援会主催）が、昨年



保護者会

十月二日（土）、六十七名の保護者の参加を得て学内で開催された。

当日は、十三時より全体会として一号館四階の講堂を会場として糸井正明後援会会長の挨拶、松本信二健康栄養学部長の挨拶の後「各学科の現状と課題（報告）」について、阿左美章治管理栄養学科長、筒井知己食品学科長の両学科長より報告が行なわれた。

その後、会場を各教室に移し学科・学年別懇談会が行われ、学年担任を中心に懇談し有意義な時間が持たれた。

保護者会終了後は、教職員との情報交換会が本学多目的ホールに於いて行なわれ、親睦が深められた。

### 保護者会に参加して

1 NB 土屋 和夫

年月の経つのは早いもので、入学式から半年が過ぎました。家庭では大学での様子をほとんど話さない娘の様子を伺う良い機会だと思いい、保護者会に参加させて頂きました。

全体会では、現在の学生の現状や国家試験の合格率、就職状況などが報告されました。我が

子にはまだ先のことだとは思いますが、目標に向かった学生生活を送ってもらいたいと考えました。

学科別・学年別では、学年担任の先生から学生たちの現状についてお話があり、学生生活の様子を伺うことが出来ました。また、個別に我が子の成績を見せて頂く機会があり、勉強についていけているか心配をしていましたが、「大丈夫ですよお父さん。私どもに任せてください」とおっしゃって頂いた時はほっと胸を撫で下ろしました。

今回初めての保護者会参加でしたが、先生方の人柄や大学生活の様子など参加しなければ分からなかったことが分り大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

### 平成二十三年 度

#### 後援会総会開催について

##### 一. 日時

平成二十三年四月二日（土）

午前十一時頃

（入学式に引き続き）

##### 二. 場所

わたなべ記念館（講堂）

一時間程のお時間です。ご出席くださいますようお願いいたします。

# 管理栄養学科

## 国家試験合格に向けた

### サポート体制の充実

管理栄養学科長 阿左美章治



合格者体験講話

卒業をひかえたこの時期、四年次生は管理栄養士国家試験の合格を目指し、二月の直前講習会に積極的に参加するなど夜昼なく真剣に試験勉強に取り組んでいる。学内には四年次生自身が作成した「決意表明入り、試験まであと〇〇日のポスター」が掲示され大いに気持ちを高めている。三年次生は一月下旬に臨地実習の一回目の報告会が終了し、就職活動が始まったところである。学生は今、試験期間中であり、当該年次の仕上げに励んでいる。四月からは、新設した国家試験の受験資格取得に必修な対策教科「特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」がスタートし、三年次生から適用される。ゆとり教育世代の学生達にとっては受験資格を左右する重要な教科であることから

大いなる緊張感を持って臨んで欲しいところである。また今年度からスタートさせた国試対策員の活躍で、学生間で勉強をしようグループ学習が放課後の勉強会に進展するなど学生の主体的活動として、特に三年次生で定着しつつありさらなる拡がりに期待している。新年度は四月の実力確認試験から始まることから学科としては、学生各自の教育および実力向上に向けさらなるサポートを続けたい。

#### 学生コメント 中村太一さん

（管理栄養学科三年次生）  
「来年度から変わる授業をしっかりと受けて実力をつけていきたい。また、グループ間での勉強にもしっかりと取り組み、学年全体で切磋琢磨して、必ず国家試験に合格してみせます。」

## 食品学科

### 基礎学力の向上とキャリアプラン形成支援に注力

食品学科長 筒井 知己

本学科は、この三月に三期生を卒業生として送り出した。日本経済の悪化により卒業生の就職内定率も前年より悪化しているが、今年度は複数名の学生が



卒業論文発表会

中小企業支援のキャリアプランを受講できるようになった。また食品

学科生のみ限定した就職ガイダンスも実施し、よりきめ細かい指導ができるようにした。学生を採用する企業の人事担当者の意見を聴くと、明るく元気で挨拶を含め日常生活がきちっとできる学生を採用したいとのことであった。三年次生はインターンシップの経験を踏まえて積極的に就職活動に取り組んでいた。また、二、三年次生に例年通り基礎学力を向上させる指導とともに種々の資格にもチャレンジさせてキャリアプランが豊かになるように指導していく。

#### 学生コメント 深野麻夏さん

（食品学科三年次生）  
「インターンシップを経験したことで働く実感がわいた。また、効率よく行動することの重要性を学んだので、就職活動ではしっかりと実践できるように心がけていきたい。」

# 学生支援センター

## 就職イベント

### 「業界・企業説明会」の開催

二月三日・四日の両日、三年

次生を主対象にした「業界・企業説明会」が開催された。病院・福祉施設・給食会社・薬局・食品会社・ホテル等の人事担当者が来校され、業界説明や各企業説明が実施された。両日とも、午前は全体説明会、午後は各企業の個別説明会が行われた。後期定期試験が終了し、就職活動の本格開始を迎えたタイムリーな開催となり、多くの学生が出席し、個別説明会では真剣な質疑応答が行われた。参加した生城山恵利さん（管理栄養学科三年次生）は「通常の企業説明会とは違い、少人数で質問もしやすく、多くの話を聞くことが出来た。また、企業の特徴や雰囲気をつかむことが出来た。」と話していた。



学内業界・企業説明会

学生支援センターでは、春休みの就職活動により、新年度、多くの学生よりの

内定報告を待っています。

## 学友会活動報告

### ● 聖栄葛飾祭(大学祭)

昨年十一月五日(金) 前夜祭、六日(土)・七日(日)本祭と『聖栄葛飾祭』が開催された。今回は「Eating is happy

食べるって幸せ♡」のテーマで、栄養・健康・食品に関する企画を充実し、葛飾区の後援に加え、農林水産省関東農政局東京農政事務所の協賛を受けた。



学友会レストラン

(社)全国栄養士養成施設協会の後援を受けた「教えて!私の身体、大丈夫!」

や(社)日本フーズスペシャリスト協会との共催による食育イベント「何を、誰と、どう食べる」などの企画を実施した。

### ● ブルドックス(株)より表彰

「聖栄葛飾祭」にて、ブルドックス株式会社「学園祭模擬店デザインコンテスト」に二団体に応募し、焼きそばの模擬店を出店したパドミントン同好会が一等に、お好み焼きの模擬店を出店したINAKラスがユーモア賞に入賞し表彰を受けた。

# 平成22年度 東京聖栄大学フォトグラフィー



入学式  
(H22.4.5)



宿泊研修 (管理栄養学科)  
(H22.4.6 ~ 4.7)



学友会総会  
(H22.4.14)



入試成績優秀特待生  
(H22.5.19)

学業成績優秀奨学生 ▶  
(H22.5.19)



NHK取材 (食育サポーター事業)  
(H22.5.25)



体育祭  
(H22.5.28)



フィールド研修 (食品学科)  
(H22.8.3 ~ 8.5)



地域共創活動 (柴又宵まつり)  
(H22.9.25)



食品衛生講習会  
(H22.10.6)



防災訓練  
(H22.10.13)

◀ 東京都食育フェア (H22.10.10)



聖栄葛飾祭  
(H22.11.6 ~ 11.7)



就職活動のためのマナー講座  
(H22.11.24)



就職活動のためのディスカッション講座  
(H22.12.9)

副会長挨拶

後援会副会長 橋田 幸子



早春の頃、後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

一日千秋の思いでこの日が来るのを心待ちになさっておられた御父母家族の皆様へ心からお祝い申し上げます。今皆さんは学業成就し東京聖栄大学でのかけがえない生活を振り返り感慨もひとしおのことと思ひます。

世の中は、予想だにしなければ自分の目的、目標を見失いがちの中、「剛毅果敢なる青年と成れ」この言葉の様にこれから社会でのさらなる飛躍を期待しています。また感謝する心を忘れず限らない可能性のある未来に向かい、勇気を産み出す「積極的な心」を持ち志や夢を失うことなく自分の人生を歩いて行ってください。健康な体を持ち自分や他人を愛する心とお洒

落心、気持ちの余裕を生む遊び心の携帯を忘れずに。四年間学生の教育指導に尽力いただいた教職員の皆様に深く感謝申し上げます。また今後とも卒業生の皆様、後援会の皆様のご健康とご発展、本学のご発展を心より祈念いたします。

進路状況

今年の大学新卒者就職内定状況は、文部科学省調査によると「就職氷河期」より低い過去最悪の状況となっている。本学の就職内定状況も昨年度比悪化し、二月中旬の集計で就職内定率が学部合計七二%と、昨年同日比マイナス八ポイントであった。

学科別では、管理栄養学科では、内定者の多くは管理栄養士職就職で、今年も公務員、病院、

4年次生の主な就職進学予定先

- 【就職】  
 <管理栄養士・栄養士職>  
 (公務員) 川越市栄養士  
 (病院) (医社)桜水会 筑波病院 新小岩なか内科  
 (福祉施設) (社福)あたご会 天羽養護老人ホーム (社福)佑啓会 ふる里学舎  
 (保育園) 亀戸浅間保育園、さくら学園保育所、そあ保育園、こでまり保育園、東京自由保育園、なかよし保育園、東戸越保育園  
 (給食会社) アイビス(株)、エームサービス(株)、(株)エム・ティー・フード、(株)グランディック、(株)グリーンハウス、シダックス(株)、(株)住商ドラッグストアーズ、西洋フード・コンパスグループ(株)、日清医療食品(株)、富士産業(株)、ベストフードサービス(株)、(株)メフォス、(株)安田物産、(株)レオックジャパン、(株)レパスト  
 (薬局・その他) (株)セイジヨー、セガミメディクス(株)、(株)阪神調剤薬局、(株)富士薬品  
 <一般企業>  
 (株)アイネット、アサマ化成(株)、(株)あさやホテル、アドアーズ(株)、(株)ウェアハウス、(株)江戸清、(株)王将フードサービス、(株)コスモフーズ、(株)ジェイプロジェクト、下田商事(株)、(株)新昭和、(株)アミーチ、大東カカオ(株)、タカラ食品工業(株)、(株)トーエイビジコム、(株)虎昭産業、(株)華屋与兵衛、ヒューマンライフケア(株)、(株)フィナンシャル・エージェンシー、(株)フードケミファ、藤田観光(株) (ホテルアジュール竹芝)、藤原運輸(株)、もんじゃお好み焼き穂、(株)米八東日本  
 【進学】  
 東京農業大学大学院、聖徳調理師専門学校、東京栄養食糧専門学校

平成23年度 学年暦

- 4月1日(金) 学年開始
- 4月2日(土) 入学式
- 4月4日(月)～7日(木) ガイダンス等
- 4月8日(金) 前期授業開始
- 5月31日(火) 学園創立記念日
- 7月30日(土) 前期授業終了
- 8月8日(月) 夏期休暇開始
- 9月22日(木) 夏期休暇終了・前期終了
- 9月24日(土) 後期開始・後期授業開始
- 11月2日(水)・4日(金) 大学祭準備
- 11月5日(土)～6日(日) 聖栄葛飾祭
- 11月7日(月) 大学祭後片付(休講)
- 11月8日(火) 代日休校
- 12月26日(月) 授業終了
- 12月27日(火) 冬期休暇開始
- 1月7日(土) 冬期休暇終了
- 1月10日(火) 授業再開
- 2月3日(金) 後期授業終了
- 3月15日(木) 卒業式
- 3月31日(土) 学年終了

また学生支援センターでは、早くも現三年次生の就職内定報告を受けている。



クリスマスツリー

大学トピックス

クリスマスパーティー!学内装飾 学生からの提案により、学生会では学内を四季の行事に合わせ、季節の雰囲気を楽しもうと昨年十二月、学内に

クリスマスツリーの設置等、装飾を施した。

また、十二月十七日にクリスマスパーティーを開催し、他学年の学生との交流の場となった。教職員も参加し、ゲームなどで大いに盛り上がった。

葛飾区社会福祉協議会より表彰 十二月二十一日、学友会役員が葛飾区社会福祉協議会に『聖栄葛飾祭』等で集まったチャリティー金を持参した。



表彰を受ける学友会

五日に葛飾区社会福祉協議会より表彰を受けた。

本学の「聖栄葛飾祭」等のチャリティー活動が評価され、一月二十